



必要な方によりきめ細やかな 支援の手を！

～新たに参画した 三田地区社会福祉協議会の思い～

広島市では、高齢者の日常生活を支援するために、介護事業者による生活支援サービスの提供に加えて、地域住民の方々がこれまでにやってこられた自主的かつ幅広い助け合い活動をベースとした「住民主体型生活支援訪問サービス」を実施している地域があります。今回は、今年の7月から上記のサービスの実施団体になった三田地区社会福祉協議会(以下「地区社協」)の溝口会長に思いを聞いてきました！



Q 住民主体型生活支援訪問サービスに参画した経緯を教えてください。

A 理由は大きく2つあります。1つは、従来の『三田よろずやワーク』(地区社協のボランティアバンク事業の名称)の活動がマンネリ化してきており、新しい風を入れてテコ入れしたかったということ。2つ目は、三田地区では、地区社協のボランティアバンク以外にも町内会や有志による移動支援等の生活支援を行っており、そういった取組を統合・整理して制度化するためにいい機会だと思ったからです。

Q 助けあい活動を行う上で工夫していることを教えてください。

A ボランティアや生活支援をする際には、地域の特性や文化、地域住民の思いを大切にしながら活動しています。また、『三田よろずやワーク』では、町内会・自治会の加入の有無に関わらず、生活に困っている方がいるならお助けする。みんなそういう思いでやっています。

Q 住民主体型生活支援訪問サービスに参画してよかったことを教えてください。

A やっぱり、地域に元々あった助け合い・支えあいを統合・整理でき、制度化されたことで、今まで以上に『三田よろずやワーク』の体制が強化され、地域の方からもより利用しやすい形になったのではないかと思います。

住民主体型生活支援訪問サービスについて、興味・関心があれば、いつでも安佐北区社協の加納までご相談ください!!

目次～主な内容～

□ 住民主体型生活支援訪問サービス(三田地区)……………P1 □ ボランティアセンター通信 他……………P3

□ ふかわ子ども食堂の活動・(有)円企画の取組の紹介……………P2 □ お知らせ 他……………P4



「ふかわ子ども食堂」は、深川地区で企業の社員食堂を借りて、毎月1回の子ども食堂、毎月2回の子どもの居場所サロンを実施しています。「あいあいねっと」等と協力した食品の配布、食事提供(コロナ対策のため、ドライブスルーでお弁当配布をしたりと活動内容が変更になることもあります)、子どもとその保護者や地域住民とのイベント開催や交流を行っています。

渡邊代表は、子どもにとっては、「子どもの得意なことを伸ばしたり、好きなことを見つけたり、主体性を育んだり、自信をもってもらえるような場所にしたい」、また地域の方にとっては、「子どもだけじゃなく、地域の高齢者もボランティアという形だけでなく、家で一人で食事をしているくらいなら是非来てもらって一緒に食事をして笑い合えるような場所にしたい」とその思いを話していただきました。

多世代交流は多くの地域で課題となっています。このような思いが広く地域に広がり、多様な取組が増えていけばいいと思います。安佐北区社協でも地域の様々な取組の応援をしていけたらと考えています。



牛乳の配達屋さんの地域貢献活動!



有円企画による配達時の高齢者の見守り

安佐北区社協では、地域住民や関係機関だけでなく、地域の企業等と協力して、地域の見守り・支えあいの体制づくりを進めています。

この度、安佐北区全域で、(株)明治の牛乳等を配達している有円企画の代表取締役よ

り地域の高齢者の見守りに協力したいと相談をいただきました。これまで、同企業は、配達時に気になる高齢者(認知症の初期症状が出始めているような)の方がいらっしゃれば、独自の取組として、見守りや、ちょっとしたお手伝いを行ってきており、企業という立場から、地域の中で高齢者の見守り・支えあいの体制整備が必要と感じていたようです。相談を受け、安佐北区地域支えあい課、安佐北区内の地域包括支援センター、安佐北区社協と連携・協力しながら、配達時に高齢者への気かけ・緩やかな見守りをしていくことになりました。本会では、今後も、地域の中の多様な立場の方と福祉のまちづくりを進めていければと思っています。



ハンドメイド作品コーナー を紹介します



まちづくり四日市役場(以下、四日市役場)では、地域の方や作業所の方が真心込めて作られた、様々なハンドメイド(手作り)作品を販売しています。

四日市役場で喫茶テ・ミールなどの活動をされている社会福祉法人やぎの八木園の職員にお話を伺いました。「それぞれが得意なことを活かして心を込めて作られた作品がたくさんある。そういった一人ひとりの頑張っている姿、想像力豊かな表現を見てもらえる機会となればいい。お子さんも高齢者も、ハンディを抱えた人も関係なく集い、くつろげる場となってほしい」とおっしゃっていました。たくさんの温かい作品に触れてみませんか。ぜひ足を運んでみてください。

【社会福祉法人やぎ八木園】

【社会福祉法人三篠会 白木の郷】

【夢ハウス高陽】

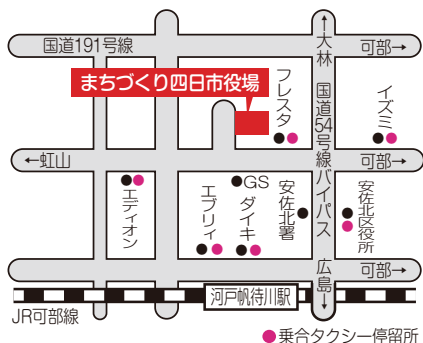
【ブレイルセンター】

点字用紙を再利用した紙袋

四日市役場ではこの他にもたくさんの活動が行われています。

コロナの状況により、活動を縮小せざるを得ない状況も続いています。が、「コロナが落ち着いたらやりたいことはたくさんある」という言葉に、皆さんの強い思いを感じました。

ぜひお気軽にお立ち寄りください。※各種活動は、コロナの状況により予定を変更している場合があります。



お気軽にお立ち寄りください。

喫茶テ・ミール

毎週月曜日～金曜日
10時～15時
ランチ(要予約)毎週水曜日
12時～13時

社協かめやま分室何でも相談会

毎週月曜日・水曜日 10時～14時

いどばた みんなの行き場、居場所

第1水曜日 13時～16時

よつばクラブ 子どもの遊び場、親の集い

第4日曜日 10時～12時

古民家カフェ (オレンジカフェ)

第3水曜日 10時～13時

連絡先 一般社団法人 まちづくり四日市役場

電話・FAX: (082) 815-8858 facebook: まちづくり四日市役場

受講生募集

令和3年度 要約筆記ボランティア 入門講座 定員10名

聞こえの不自由な方のコミュニケーションの1つとして書いて伝える方法があります。

聴覚障害について理解を深め、要約筆記について学んでみませんか。

会場 安佐北区総合福祉センター6階 大会議室2

対象 要約筆記ボランティアに関心のある方 参加費 無料

主催 NPO法人広島市要約筆記サークルおりづる安佐北支部

申込み方法 11月18日(木)までに電話(留守番電話)・FAX・Eメールにて受講希望であること・氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

問い合わせ・申込み先

広島市要約筆記サークル

おりづる安佐北支部 岡田 公恵

電話(留守番電話)・FAX: 812-3698

メール: km_okada@fureai-ch.ne.jp



※新型コロナウイルス感染防止対策を行い開催します。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、講座を中止または延期する場合がありますので、ご了承ください。

	日時	講座内容
1回	11月25日(木) 10:00～12:00	要約筆記について 他
2回	12月 2日(木) 10:00～12:00	聞こえの不自由な方の生活談 他
3回	12月 9日(木) 10:00～11:30	ノートテイク実習 他

弁護士無料法律相談開催のお知らせ

日 時 令和3年11月17日(水)13:00~16:00

場 所 安佐北区総合福祉センター

内 容 多重債務、破産、離婚、相続などについて
弁護士が無料で相談を受けます。
ひとり30分(定員6名)

申 込 先

安佐北区社会福祉協議会

電話 814-0811

FAX 814-1895



申込方法 電話またはFAXにて受付けます。
なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。(原則、安佐北区内に居住する方を優先)

社協職員が全力でおすすめる本
(社本)

シャボン

モモ

時間どろぼうとぬすまれた時間を人間に
とりかえてくれた女の子のふしぎな物語

著者: Michael Ende 訳者: 大島かおり 岩波書店



【本当の”豊かさ”って何だっけ？】

“時間”の真の意味を問う。ドイツの作家ミヒャエル・エンデのファンタジー小説、
「モモ」(1973年)が今を生きる現代人に刺さります。

現代社会は生活の隅々にまで組織化され管理された社会であり、効率性・進歩の
価値によって、多くの物に溢れています。子どもたちは将来のためになるからと塾や勉強に多くの時
間を注ぎ、遊びの時間を奪われる。一方大人は、良い暮らしのためにと必死で仕事に多くの時間を注い
でいます。”時間”という観点から見た時、コロナはこうした我々の暮らしを考え直す機会を提供して
くれているかもしれません。みなさんは”時間”をどのように使っていますか？多くの刺激をもたらす
スマートフォン(SNS等)から絶え間なく映像等を吸収することに時間を取られ、家族や友人、あなた
にとって大切な人々、あなたを大切に思う人々と心を通わせていますか？

都市は多くの物で溢れ、スマートフォンを見れば我々を飽きさせないコンテンツが無限に近い形で
提供され、現代社会は一見、その見せかけの繁栄と豊かさに満たされているように見えます。しかし、
人間が人間らしく生きることを可能にする時間が失われていくことによって、心の中は寂しくなり、
荒廃していくのです。同小説の主人公”モモ”はそんな現代社会の中に組み込まれていない自然状態の
人間であり、人間に生きる本当の意味や”豊かさ”を再発見させてくれるのです。是非、コロナ禍の今だ
からこそ、読んで見てはいかががでしょうか？



赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするしくみ。

今年も10月1日から12月31日にかけて、共同募金運動を実施しています。
赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動の他に、災害時の被災者支援活動にも活用されています。
みなさまのご理解と一層のご協力をお願いいたします。



〔物品寄付〕
ピップ株式会社様
自走用車いす2台
匿名
不織布マスク
4000枚

安佐北区社協に、皆
さまよりご寄付をい
ただきました。
皆さまのご厚意に
感謝申し上げ、ご報告
いたします。
(令和3年6月19日
〜令和3年10月8日)

愛の灯